




キラリと輝く未来に向かって



交通案内

- 公共交通機関をご利用の方
 - ・近鉄四日市駅にて近鉄湯の山線に乗り換え
 - 菰野駅下車 3分
- お車でお越しの方
 - ・東名阪 四日市ICより国道477号線(湯の山街道)を湯ノ山方面へ約10分
 - ・新名神 菰野ICより国道306号線を南へ約5分、477号(湯の山街道)を四日市方面に約5分
 - ・国道1号線より477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約30分

JA 三重厚生連 三重北医療センター
 菰野厚生病院

〒510-1234 三重県三重郡菰野町大字福村75番地
 TEL 059-393-1212 FAX 059-394-2679
<http://www.miekosei.or.jp/kkh>



JA 三重厚生連 三重北医療センター

 菰野厚生病院

総合リハビリテーションセンター

笑顔
を
再
び
。

どの病棟においても！！在宅復帰した後も！！ 私たちリハビリスタッフがサポートします

総合リハビリテーションセンター概要

当センターは、急性期・回復期(入院)～生活期(外来・通所・訪問)まで一貫した幅広いリハビリテーションを提供しています。また様々な疾患にも対応し、専門性を持ったリハビリスタッフが患者さん・ご家族の希望にあわせ、家庭・社会復帰をサポートします。

急性期病棟

病気の発症からできる限り早い段階で行われるリハビリテーションです。患者さんの全身状態を医師・看護師と相談しながら、安全なリハビリテーションを提供します。

回復期病棟

退院後も元の生活を送れる様に日常生活に必要な練習や、患者さんが希望する趣味・活動の練習など、365日集中的に行います。入棟できる対象の病気は脳血管・脊髄損傷・2カ所以上の骨折などがあります。

地域包括ケア病棟

急性期治療後に体力や日常生活動作が低下した患者さんにリハビリテーションを行います。また自宅で療養中の方で「身体機能の低下がある」、ご家族が「介護に疲れてきた、少し休みたい」(レスパイト入院)などの場合にもリハビリテーションを行います。

※レスパイトとは
治療、医療など必要ないが介護者の負担軽減のための社会的入院のことです。

療養型病棟

急性期治療後の長期入院の方や退院調整中の患者さんを対象として、身体の状態に合わせたリハビリテーションを実施し、身体機能を維持・向上していきます。



通所リハビリテーション

利用者さん一人ひとりに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護職員が日々協働し、円滑に日常生活が送れるよう様々な訓練、脳トレーニングやレクリエーションを行います。またご家族の介護負担軽減のために入浴や食事の提供を行います。



訪問リハビリテーション

リハビリスタッフがご自宅へ訪問し、利用者さん本人又ご家族から希望をお伺いし、各家庭の環境に応じて訓練を行います。家の中での移動訓練や外出訓練、寝たきりの利用者さんに対しては座位訓練や関節が硬くなるのを予防します。



外来リハビリテーション

入院の必要のない、腰痛・五十肩・腕の骨折などの患者さんに対して日常生活の改善や復職に向けて、外来通院しながらリハビリテーションを行います。さらに他病院からの紹介による患者さんにも対応しています。



入院

在宅



病気・けがの状態に応じた 専門的なリハビリテーションを

患者さんとの絆を大切に

理学療法

病気やけが、高齢などにより身体の運動機能および筋力が低下した方を対象に、運動機能の改善をはかり、座る・立つ・歩くなどの動作ができるように筋力アップのサポートをします。また、痛みや炎症を和らげる温熱・電気など併用してリハビリテーションを行います。



言語聴覚

言いたい事が上手く伝わらない、呂律が回らないなどのコミュニケーション障害や、記憶障害などの高次脳機能障害、食べ物が飲み込みにくいなどの嚥下障害がある方々に対して、どのような問題があるのかを調べ、訓練を行います。患者様や御家族の気持ちを尊重しながら、一人一人がコミュニケーションや食べる楽しみを感じ、充実した生活を送られる様、また能力を十分に発揮できる様に援助していきます。



作業療法

病気やけがのために身体に障がいを持った方に、食事・トイレ・着替え・家事・趣味などの日常の動作が、普段通り行えるようサポートします。また福祉用具の選定や福祉用具を使用した訓練を行います。



えんげぞうえい 嚥下造影検査



当院では上手く食べられない、飲み込めないとお困りの方に嚥下造影検査を実施しています。X線による透視下で、造影剤を混ぜた飲料や食事をお召し上がりいただき、のどの形や飲み込み方に問題が無いかどうかを調べ、どのような食べ物であれば安全に食べることができるか、どのような姿勢で食べれば安全に食べることができるか等を検討します。

自宅訪問

ご自宅に退院される予定の患者さんが、快適に在宅生活を送っていただけるよう自宅に訪問させていただきます。ケアマネージャーや福祉用具業者とともに、家屋の間取り、内外の段差などの状況を把握し、住宅改修の提案、自宅での生活指導などを行います。

退院後、私たち家族でも、ちゃんと介護できますか？

家の環境も心配ですね

退院したら買い物したい！

外に歩いて出掛けたい

院内外泊

病棟スタッフと共に退院後の自宅での生活を想定し介護方法を考えます。病棟内の家庭復帰支援室を利用して、試験的に患者さんとご家族が共に過ごし、介護体験をすることができます。24時間看護スタッフがいるため夜間でも安心して利用いただけます。院内外泊の結果を踏まえて問題点や困ったことを話し合っ、より良い生活を送れるよう訓練に活かしていきます。

外出訓練

患者さんの退院後の生活に応じた外出訓練を入院中に行うことで、より安心して自宅復帰、社会復帰していただけるよう支援いたします。自家用車を用いた乗車訓練、公共交通機関の利用訓練、通勤・通学や散歩コースなどの歩行訓練、道路の横断、普段利用しているお店での買い物訓練などを行っています。

